学校番号	315

令和５年度　　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版 高等学校 数学Ｂ （数研出版）						
副教材等	改訂版 ４プロセス 数学Ⅱ＋Ｂ （数研出版） チャート式　解法と演習　数学Ⅱ＋Ｂ （数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学Ｂの中でも、主に数列、統計的な推測の分野について学習する。数学Ⅰ，Ａの内容が十分に理解できていることが望ましいため、授業と並行して、入念に復習しておくこと。
・複雑な問題も多いため、毎日の学習を怠らない。副教材を活用し、授業内容の復習と演習を家庭学習で取り入れること。
・積み重ねの学習になるので、一度学んだことを忘れないように。

２　学習の到達目標

数列，統計的な推測または数学と社会生活について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に 学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測または数学と社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数列，統計的な推測または数学と社会生活における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 2	数列	第１節 等差数列と等比数列 １　数列と一般項 ２　等差数列 ３　等差数列の和 ４　等比数列 ５　等比数列の和	a : 数列に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b : 等差数列，等比数列の項を書き並べて規則性を推定して隣接する項の関係，一般項が考察できる。 c : 数列の定義，表記や，等差数列，等比数列の公比，一般項などを理解している。数の並び方に興味をもちその規則性を発見しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
		第２節 いろいろな数列 ６ 和の記号Σ ７ 階差数列 ８ いろいろな数列の和	a : 記号Σの意味と性質を理解し，数列の和を求めることが出来る。 b : 数列の規則性の発見に階差数列が利用でき初項から第 n 項までの和に着目し一般項を考察できる。 c : 自然数の２乗の和等の公式を求めようとする意欲があり群数列に興味をもち考察しようとする	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
		第３節 漸化式と数学的帰納法 ９　漸化式 １０　数学的帰納法	a : 漸化式の意味を理解し，初項と漸化式から数列の一般項が求められる。また，数学的帰納法を用いて等式，不等式を証明できる。 b : 自然数 n に関する命題の証明には，数学的帰納法が有効なことを理解している。 c : 漸化式を適切に変形して，その数列の特徴を考察することができる。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
	統計的な推測	第１節 確率分布 １　確率変数と確率分布 ２　確率変数の期待値と分数 ３　確率変数の和と積 ４　二項分布 ５　正規分布	a:確率変数に関する基本的な概念を理解し，確率、期待値を求めることができる。 b:二項分布、正規分布について正しく理解し、様々なデータについて確率分布の考え方を用いて考察することができる。 c:日常生活に存在するデータに関して、興味、関心を持ち、確率変数、分布について性質を理解しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート

		第２節 統計的な推測 １　母集団標本 ２　標本平均の分布 ３　推定 ４　仮説検定	a:統計的な推測に関する基本的な概念を理解し，正しい判断をすることができる。 b:推定、仮設検定について正しく理解し、様々な事象について、その考え方を用いて考察することができる。 c:身の回りの事象に関して、興味、関心を持ち、統計的な推測の考え方を用いて理解しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
3	数学と社会生活	１　数学を活用した問題解決 ２　社会の中にある数学 ３　変化をとらえる（移動平均） ４　変化をとらえる（回帰分析）	a:数学と社会生活に関する基本的な概念を理解し，活用することができる。 b:数学と社会生活について正しく理解し、様々な事象について、それぞれの考え方を用いて考察することができる。 c:日常生活に存在するデータに関して、興味、関心を持ち、性質を理解しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
〇を付けている。